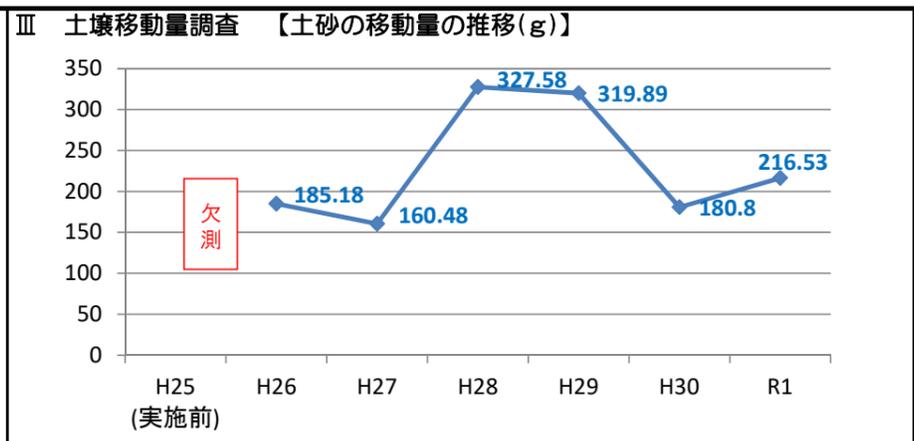
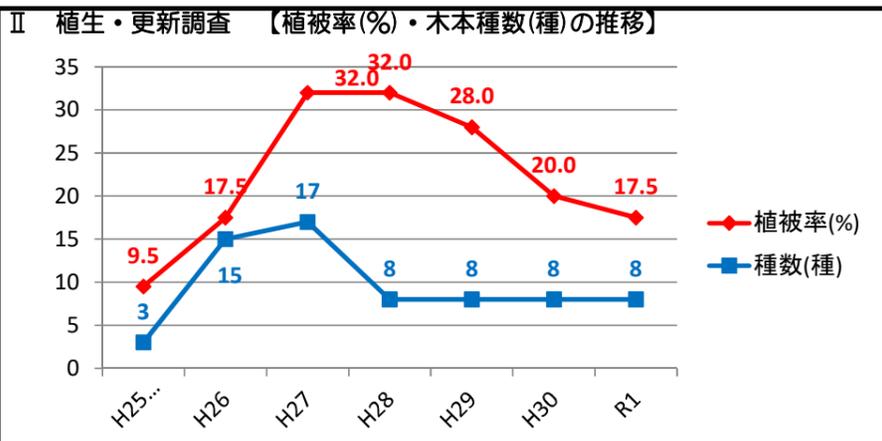
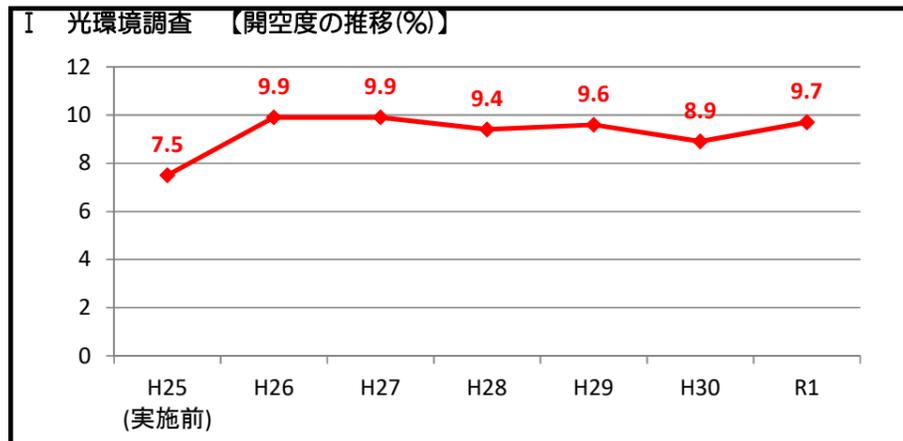


事業概要
 樹種 スギ・ヒノキ
 間伐 0.87ha
 間伐率 30%

位置図



状況写真

施業前

1年後 (H26)

2年後 (H27)

状況写真

施業前

1年後 (H26)

2年後 (H27)

状況写真

土砂受け箱設置状況

【現況】

毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数(本)	65	37	
平均胸高直径(cm)	22.6	25.6	

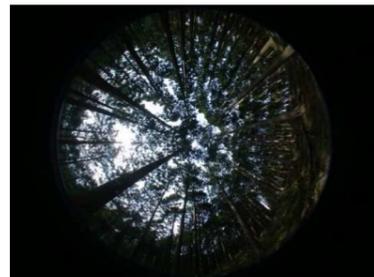
- 間伐の実施により、林内が明るくなった。
- 地表面の平均傾斜は33°と比較的急勾配。
- 部分的にスギの落葉等に覆われており、林床部は安定している。

【所見】

- 植被率は低下したものの、木本種数は維持されていた。
- 土砂移動量が多い状況が継続していた。

状況写真

3年後
H28



NO.1



NO.2

状況写真

3年後
H28

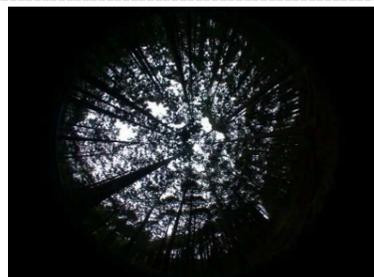


NO.4



NO.10

4年後
H29



NO.1



NO.2

4年後
H29



NO.4



NO.10

5年後
H30

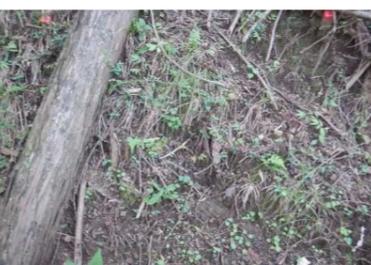


NO.1



NO.2

5年後
H30



NO.4



NO.10

6年後
R1



NO.1



NO.2

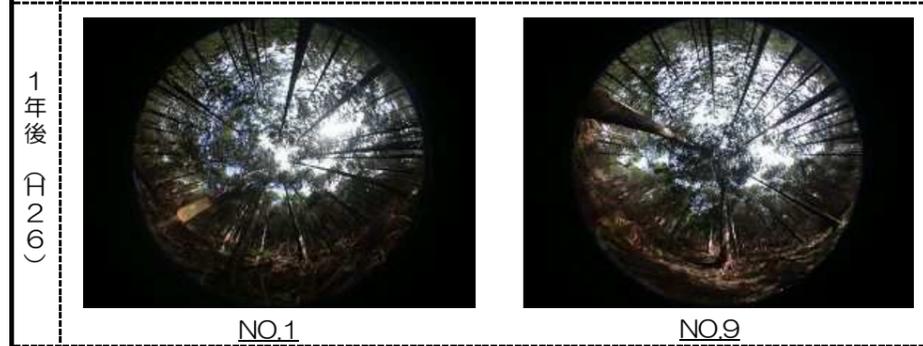
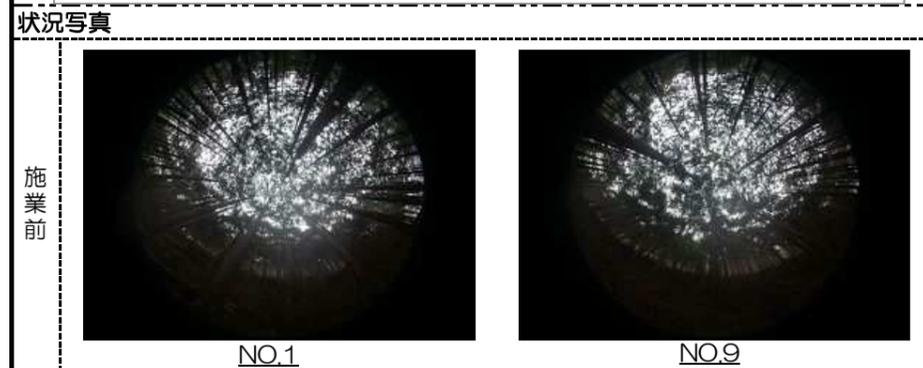
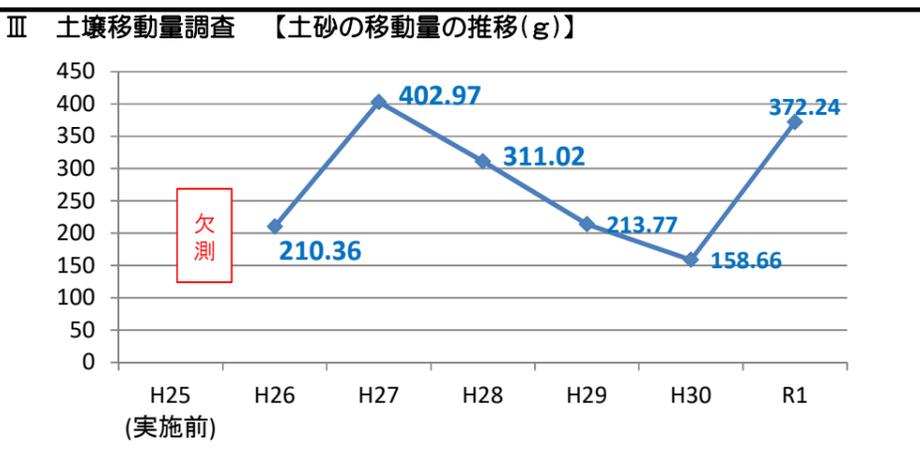
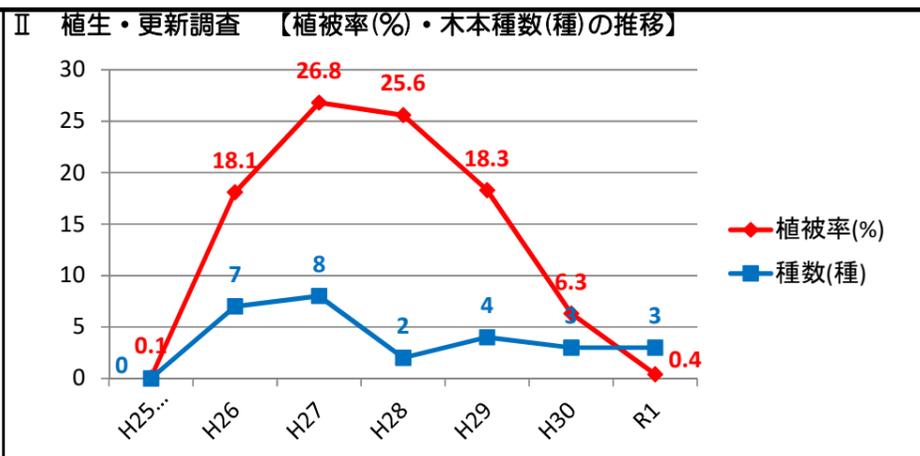
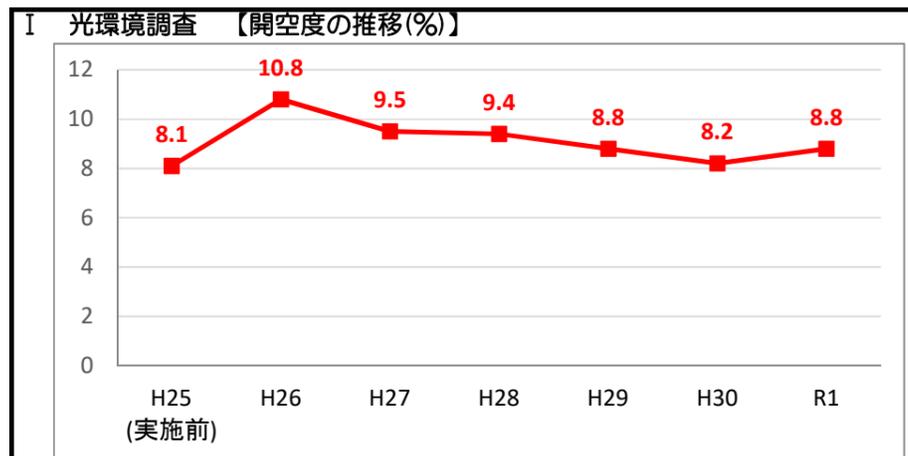
6年後
R1



NO.4



NO.10



【現況】

毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数(本)	63	37	
平均胸高直径(cm)	21.5	24.9	

- 間伐の実施により、林内が明るくなった。
- 地表面の傾斜は35°と急勾配。
- 伐採木が林内に残置されている。
- 腐植層は薄く、表土が露出しているが、安定している。



【所見】

- 開空度は間伐後の状態をほぼ維持していた。
- 植被率は低下し、木本種数の回復も緩慢であることから、今後の推移を注視する必要がある。
- 土壌移動量は継続して減少していたが、今年度は増加しており、植被率の低下が影響している可能性がある。

状況写真

3年後
（H28）



NO.1



NO.9

状況写真

3年後
（H28）



NO.6



NO.8

4年後
（H29）



NO.1



NO.9

4年後
（H29）



NO.6



NO.8

5年後
（H30）



NO.1



NO.9

5年後
（H30）



NO.6



NO.8

6年後
（H31）



NO.1



NO.9

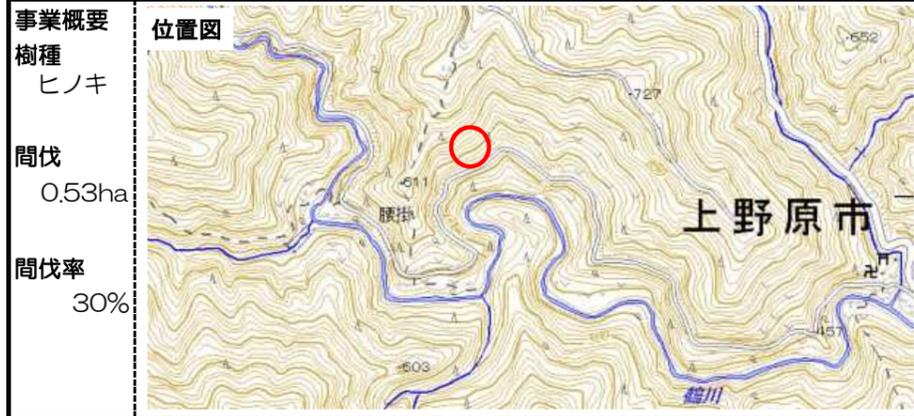
6年後
（H31）



NO.6



NO.8



【施業前1】



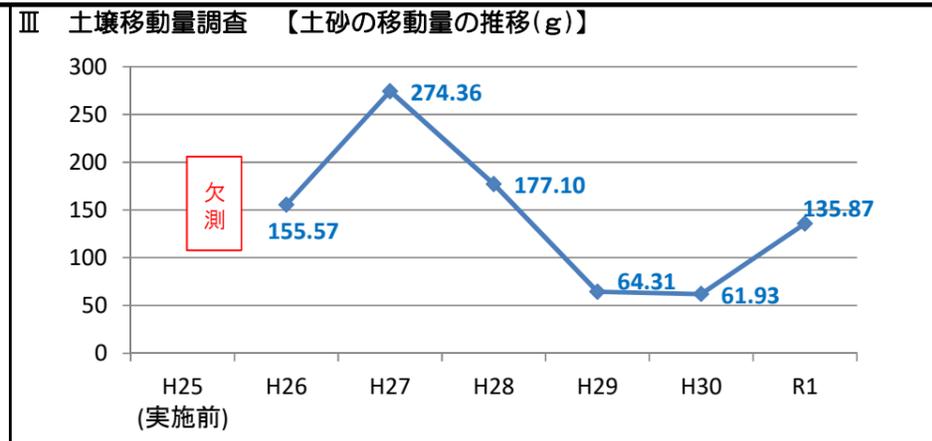
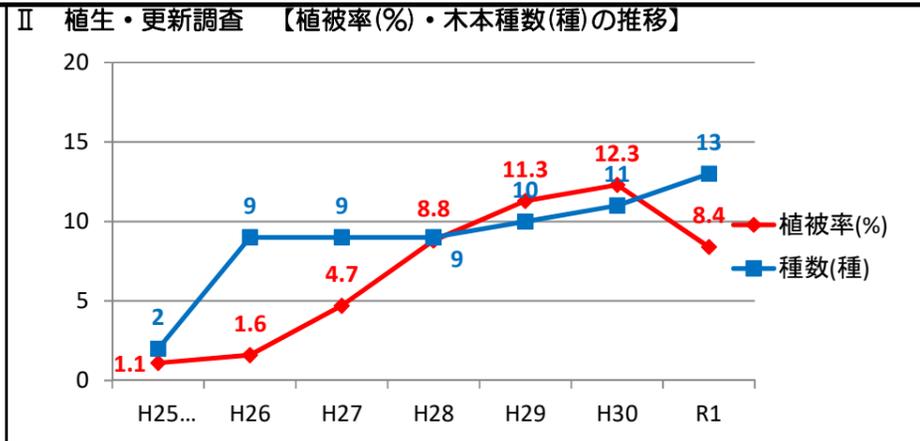
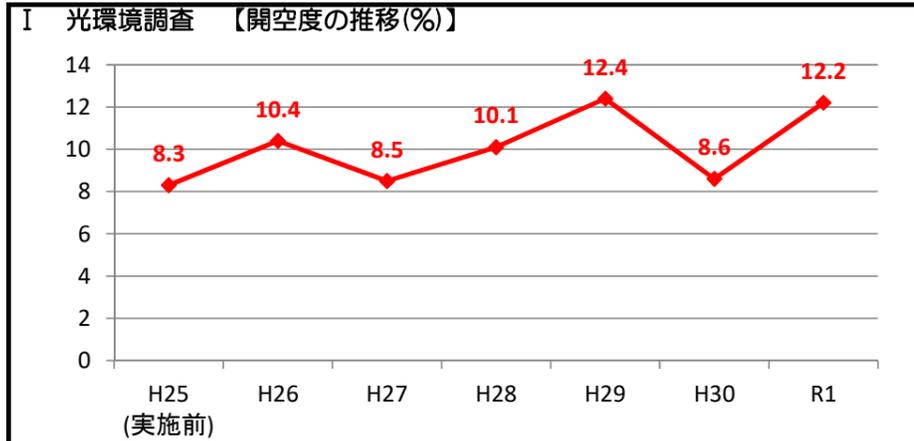
【施業後1】



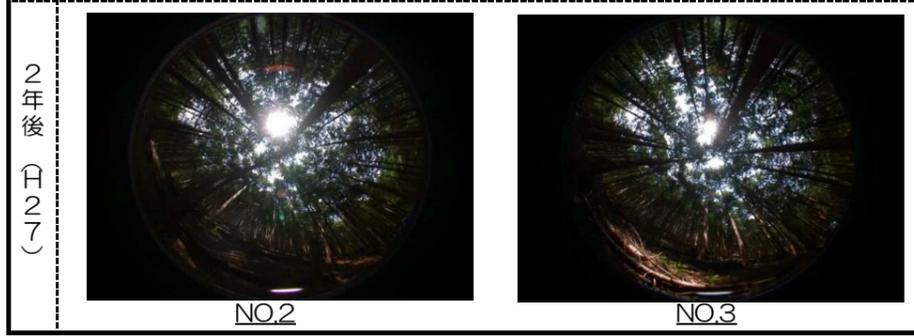
【施業前2】



【施業後2】



状況写真



状況写真



状況写真



【現況】

毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数(本)	82	55	
平均胸高直径(cm)	18.5	20.8	

- ・間伐の実施により、林内が明るくなった。
- ・地表面の平均傾斜は37°と急勾配。
- ・伐採木が林内に集積されている。
- ・腐植層は薄く、表土が露出しているが、安定している。

- 【所見】
- ・植被率の増加が継続していたが、今年度は減少した。
 - ・植被率の減少が土砂の移動量の増加をもたらした可能性がある。

状況写真

3年後
H28



NO.2



NO.3

状況写真

3年後
H28



NO.4



NO.9

4年後
H29



NO.2



NO.3

4年後
H29



NO.4



NO.9

5年後
H30



NO.2



NO.3

5年後
H30



NO.4



NO.9

6年後
R1



NO.2



NO.3

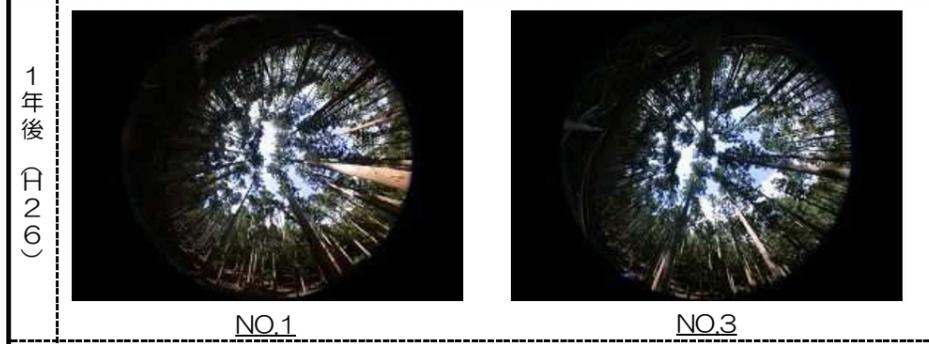
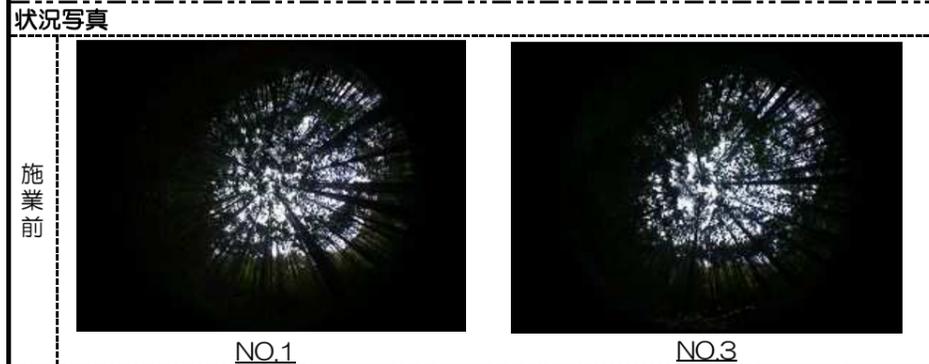
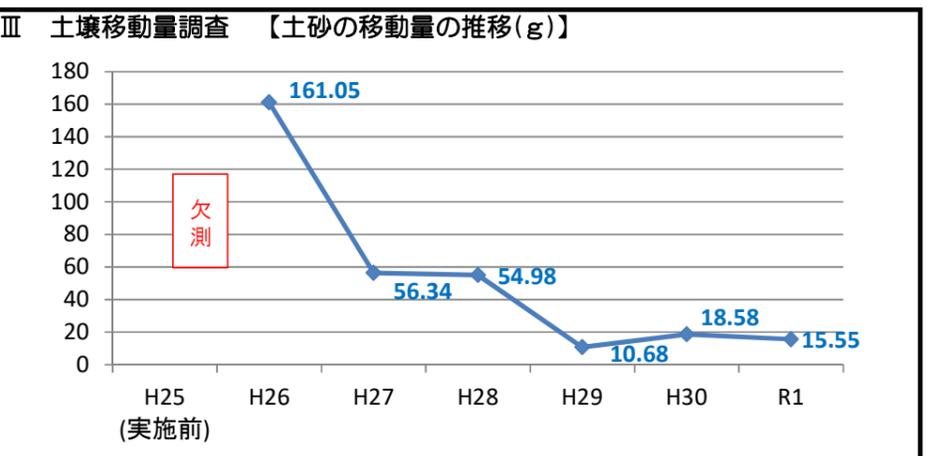
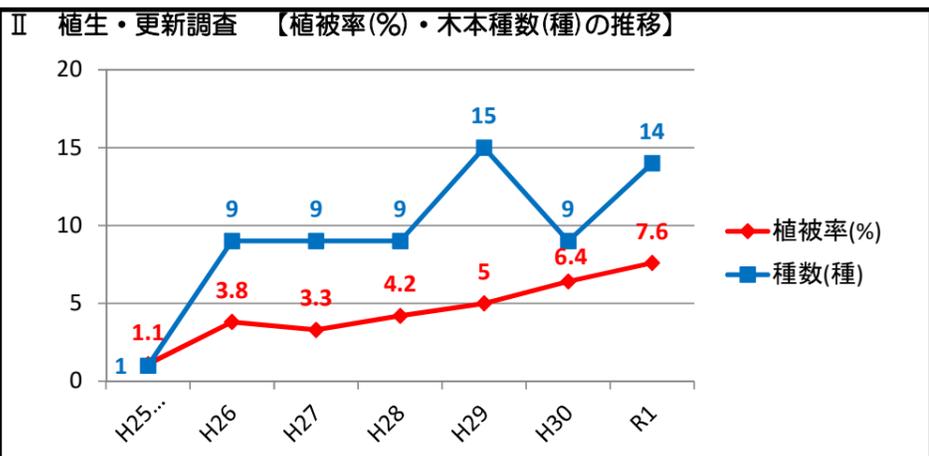
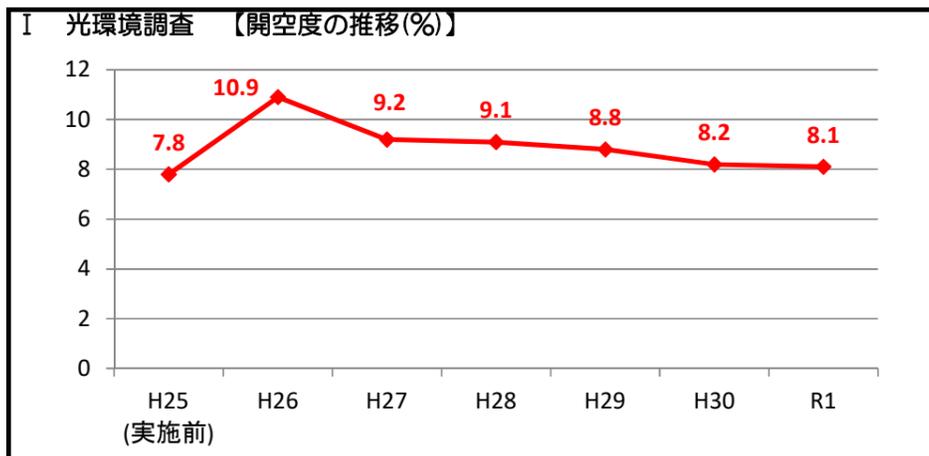
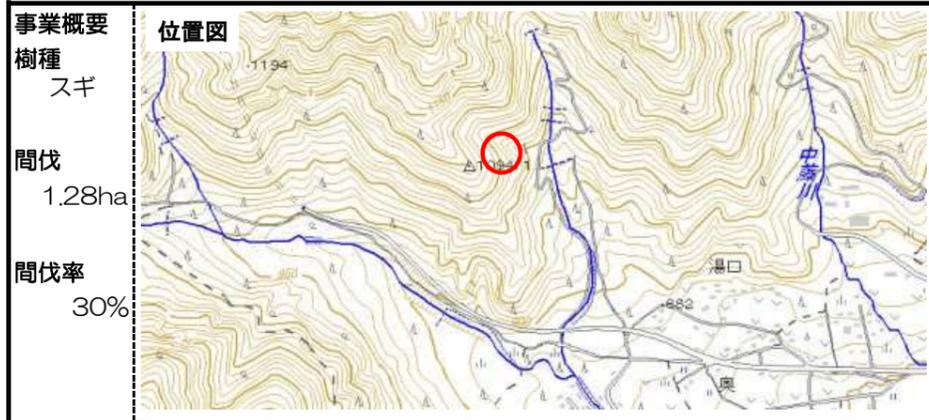
6年後
R1



NO.4



NO.9



【現況】

毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数 (本)	50	27	
平均胸高直径 (cm)	24.4	32.4	

- ・間伐の結果、林内が明るくなった。
- ・地表面の傾斜は 32° と比較的急勾配。
- ・搬出後の残材が林内に置かれた状態になっている。
- ・スギの落葉が厚く堆積していることから、現時点では洗掘等土砂流出の痕跡は見られない。



【所見】

- ・植被率に増加傾向が見られる。
- ・土砂の移動量は減少し、表土が浸食を受けた痕跡は見られず、安定している。

状況写真

3年後
H28



NO.1



NO.3

状況写真

3年後
H28

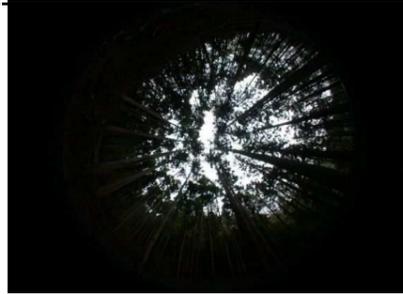


NO.1



NO.8

4年後
H29



NO.1



NO.3

4年後
H29



NO.1



NO.8

5年後
H30



NO.1



NO.3

5年後
H30



NO.1



NO.8

6年後
R1



NO.1



NO.3

6年後
R1



NO.1



NO.8